

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定 実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|--------------------------|--|--|--|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 自立と社会参加をめざして、各学部の教育内容の標準化に向けた取り組みを推進し、それぞれが系統性のある教育課程の編成や組織的な授業改善に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ①各学部のカリキュラムの見直しを行う。 ②意思決定支援を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①部活動等、各学部の課題に応じたカリキュラムの見直しを行う。 ②意思決定支援を研究テーマにし、取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ①部活動等、各学部の課題に応じたカリキュラムの見直しを行うことができたか。 ②意思決定支援を理解することができたか。 | | | | | |
| 2 (幼児・児童・)生徒 指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、よりよく生きるための多様な教育的ニーズに対応した支援、指導を組織的・連携的に行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ①相談支援業務内容について保護者への理解を図る。 ②通学支援事業を活用し、通学支援利用を広げていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ①個別面談期間等を活用し、相談支援のパフレット等の配付や内容説明を行う。 ②事業所や訪問看護ステーションとのネットワーク作りに取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ①相談支援業務内容について保護者への理解を図ることができたか。 ②通学支援事業を活用し、通学支援利用を広げることができたか。 | | | | | |
| 3 進路指導・ 支援 | <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが将来をより豊かに自分らしく生きるために、障がいの特性や発達段階に応じた社会生活に移行できる進路指導・支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ①進路指導の学習会を実施し理解を図る。 ②保護者がわかる支援通信を発行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①進路指導の学習会を実施する。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①進路指導について理解を図ることができたか。 ②わかりやすい用語で支援通信を発行することができたか。 | | | | | |
| 4 地域等との 協働 | <ul style="list-style-type: none"> 共生社会の実現に向け、障がいのある子どもの理解者・支援者を増やすために地域とのつながりを広げ、深める教育活動を展開する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①鎌倉支援学校の様子を地域に発信する。 ②目的別資源マップ作り取り組むことやボランティアの活用を広げていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ①「鎌倉支援学校だより」の毎月発行や地域のタウン誌等に情報を発信する。 ②目的別に資源マップを作る。ホームページ等を活用し、広くボランティアを募る。 | <ul style="list-style-type: none"> ①「鎌倉支援学校だより」の毎月発行や地域への情報発信はできたか。 ②目的別資源マップ作りに取り組むことができたか。また、ボランティアの活用を広げることができたか。 | | | | | |
| 5 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> 不祥事防止に努め、同僚性の良質化を図り、職員一人ひとりが当事者意識を持ち、不祥事ゼロをめざす。 児童生徒の安全と健康を守り、良好な教育環境の整備を推進する。 教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハット・アクシデントのケース会を開き、事故を未然に防ぐ。 ②福祉避難所開設準備の訓練を行う。 ③業務の効率化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ①ヒヤリハット・アクシデントのケース会や報告を学部で行う。 ②夏季休業期間中に訓練を実施する。 ③業務を洗い出し、フォーマットを活用し、業務を見える化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ①ケース会で検討された手だてが実行できたか。 ②夏季休業期間中に訓練を実施することができたか。 ③フォーマットを活用し、業務の見える化が図れたか。 | | | | | |